

令和5年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	甲州市日川溪谷緑の村				検証日	令和6年7月8日
	所管課担当名	観光商工課 施設管理担当		課長名	廣瀬 仁	作成者名	小澤 龍司
	指定管理者	名称	株式会社 栄和交通				
		代表者	代表取締役 原田 孝典				
		所在地	山梨県笛吹市春日居町別田361番地1				
	管理施設の概要	指定期間	平成31年(2019年)4月 ~ 令和6年(2024年)3月				
		施設所在地	山梨県甲州市大和町田野3番地				
		設置目的	緑豊かな自然環境の保全及び活用を通じ、広く一般に保健と休養の場を提供するとともに、産業の振興に寄与するため、日川溪谷緑の村を設置する。				
		利用者	市民、市民以外	施設管理体制	5名	開館日時間等	一日使用の場合 9:00~17:00(5月から9月) 営業時間(宿泊) 15:00~10:00 (毎週水曜日・7~9月以外の第2第4火曜日・年末年始・臨時休館を除く) 冬季休館: 令和4年12月1日~令和5年3月31日まで
	事業概要	サービス提供の内容					
指定管理業務		(1) 緑の村施設の利用申請の受付及び利用許可等に関する事。(6) 施設の維持、管理及び修繕(大規模な修繕は除く) (2) 緑の村施設使用料徴収に関する事。(7) 備品等の維持、管理及び修理(大規模な購入及び修理は除く) (3) 緑の村施設利用料の徴収事務に関する事。(8) その他の施設の管理に関する事。 (4) 施設利用にあたってのサービス、指導に関する事。(9) 業務の報告 (5) その他の日常業務					
自主事業	(1) イベントの開催 (2) 広告・宣伝 (3) 自社バスの活用 (4) 自社ネットワークの活用 (5) 付帯施設の充実						
DO	管理運営コスト推移(千円)		令和元年度(指定期間1年目)	令和2年度(指定期間2年目)	令和3年度(指定期間3年目)	令和4年度(指定期間4年目)	令和5年度(指定期間5年目)
	予算	指定管理料	0	0	0	0	0
		事業収入(食堂・BBQ)	12,480	13,692	13,080	15,044	13,570
		使用料(バンガロー、釣り堀)	5,820	5,095	5,930	6,866	7,430
		その他収入	200	75	82	90	90
		管理運営経費	19,289	18,779	19,023	21,000	20,366
	決算	指定管理料	0	0	0	0	0
		事業収入(食堂・BBQ)	13,136	6,642	12,324	10,197	11,912
		使用料(バンガロー、釣り堀)	5,052	3,963	7,212	5,702	5,368
		その他収入	67	1,639	1,086	0	0
		管理運営経費	16,444	19,278	23,241	15,993	18,008
	収支	1,812	-7,034	-2,619	-94	-728	
減収補填			877	1,309	47		
施設の稼働状況	令和元年度(指定期間1年目)	令和2年度(指定期間2年目)	令和3年度(指定期間3年目)	令和4年度(指定期間4年目)	令和5年度(指定期間5年目)		
指標	施設利用者数(人)	10,005	5,818	8,003	7,284	7,463	
活動結果	・令和5年5月にコロナ感染症が5類へ移行し、集客数が前年比179名増加したが、天候に左右されやすい施設であるため、9月の大雨により、溪流釣りの堀に土砂が堆積し営業に支障がでた。また、物価上昇に伴う仕入れ価格の高騰等の影響を受け経費が増加し、最終的に728千円の赤字となった。						
CHECK	評価観点	評価(5 4 3 2 1) 高 → 低	評価の説明				
	(1) 事業の運営	3	・協定書に沿った管理運営が行われている。 ・自社路線バスや県内外の自社のネットワークを活用して、施設のPRを行い、集客に繋がっていることや、売店の販売商品の見直しも行き、顧客満足度の向上に努めている。 ・子供たちが遊べる水遊びエリアの増設や、企業の福利厚生施設としての活用など、営業努力より利用者数の増加に繋がっている。				
	(2) 施設の維持管理	3	・日常点検、法定点検において、異常部品等があった場合は、事故等を未然に防ぐための対応を行っている。 ・定期的にミーティングを行い職員の能力向上に努めている。				
	(3) 収入支出	3	・物価高騰の影響を受け、支出額全体は昨年比2,015千円増加したが、経営努力により利用者数と事業収益の増加に繋がっている。				
	(4) 総合評価	総合評価の説明(施設所管課による一次評価)					
優良 良好 妥当 要改善 不適	妥当	・物価高騰の影響等もあり、728千円の赤字となったが、自社路線バスを活用したPR活動や企業の福利厚生施設としての活用などを積極的に実施し集客数や収入の増加に繋がっている。 ・令和6年度からは、天目山温泉と一体での指定管理となるため、更なる集客に努め、赤字脱却を目指してほしい。					
ACTION	評価結果に対する施設所管課の対応						
	当面の課題	・過去5年間の収入状況を見ると88.4%がバーベキュー・釣り事業で、宿泊は全体の集客の4%にとどまっている。主力であるバーベキュー・釣りも継続して利用してもらいつつ、天候にあまり左右されないバンガローによる宿泊も若い世代にも利用してもらえるようにすること等、売り上げを増加させるための計画などを積極的に考えていく。					
	課題解決への対応	・若い世代にバンガロー(宿泊)も利用してもらえるように、施設を清潔に保つことはもとより、PRの仕方や利用者がイメージしやすい利用方法の提案をするなど、利用促進に繋がる改善策を指定管理者と施設所管課とで協力しながら考えていく。 ・施設の老朽化もあるが、適切な施設修繕等を行いつつ、清潔感のある施設になるようにする。					
二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)							
・仕様書及び協定書のとおり適切に管理運営されている。 ・物価高騰の影響により、仕入れ価格等が増加し支出は増えているものの、子供たちが遊べる水遊びエリアの増設などの利用者や収入を増加させる営業努力を行っており、成果として、利用者・収入共に増加させることができているので、引き続き、経費削減を図りつつ集客に向けた積極的な活動を行っていただきたい。 ・会社の強みを活かした自社路線バスや県内外の自社のネットワークを活用したPR活動についても、引き続き、積極的に行っていただきたい。							